

ドイツ

移民・難民の

ドキュメンタリー演劇

ワークショップ

& レクチャー

東京

演劇

ドキュメンタリー

ドキュメンタリー



ケルン市立劇場

『EXIL』(2023) 演出家と

ドラマトウルクによる、

ドキュメンタリー演劇

創作へのアプローチ

ヌーラン・ダーザイド・カリス

Nuran David Calis

演出家、劇作家、映画作家

スタヴルーラ・パナヨターキ

Stavroula Panagiotaki

ケルン市立劇場ドラマトウルク

2023年6月14日|水|→21日|水|

ワークショップ=東京芸術劇場シニアニュースペース(5階)、他
レクチャー(全3回)=オンライン(Zoomウェビナー)

※6/14(水)、6/15(木)、6/17(土)

難民

移民

移民・難民の出自を持つ出演者との共同制作や、移民排斥事件を題材にした作品を手掛ける演出家ヌーラン・ダーザイド・カリス氏。2004年にドイツのケルンで起こった爆弾テロを題材に、現場周辺の住人らが出演した『Die Locke(裂け目)』(2014)でセンセーションを巻き起こし、以降、ドキュメンタリー演劇の手法で高い評価を得ています。今回、カリス氏と、カリス氏の創作を支えるケルン市立劇場(Schauspiel Köln)のドラマトウルク、スタヴルーラ・パナヨターキ氏を招き、ドキュメンタリー演劇をどのように創作するのか、その手法をワークショップで体験しながら学びます。また、ドラマトウルクの役割やドイツの劇場事情を紹介するレクチャーも同時開催します。この機会にぜひご参加ください。

※言語:ドイツ語(日本語通訳付き)

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

Photocall Lukenda / Schauspiel Köln 作品名『Die Locke 201』(2021)